

つながりを力に、未来へつなぐ ボランティアの輪

市原市ボランティア連絡協議会 会長 井前省吾

V 連協は、地域社会の福祉増進とボランティアグループの連絡調整・情報交換・啓発及び親睦を図ることを目的として平成7年（1995年）に発足し、今年で30年を迎えます。

これまでの活動への敬意と感謝

これまで V 連協を支えてこられた歴代会長をはじめ役員の皆様、そして地域で活動される会員のみなさまに心より敬意と感謝を申し上げます。

仲間が増えました！

今年度は14団体の皆様が新たに会員となり個人会員も増えました。詳しくは次頁以降に紹介させていただきます。

今年度の主な事業は？

- ・5/23 2025年度V連協総会（アネッサ）
- ・6/2～7 環境フェスタに出展（アリオ市原）
- ・6/12 役員・ES委員親睦会（竹・いろりの里）
- ・9/18～10/10 会員アンケート
- ・11/15 グランバ・フェスタ in いちはら（ウエルコム）
- ・11/20 講演会「認知症への備え」安田清氏（市民会館）
- ・2/19 バス研修 ※会員のみなさまからアイデア募集中

今後のビジョン・方針

今後は、アンケートの回答で頂いた「つながりの声」を大切にしながら、みなさまの課題に寄り添う活動を推進してまいります。みなさま一人ひとりの力が、地域を支える大きな力となります。ぜひ、これからもご協力・ご参加をお願いいたします。共に、いちはらの未来を創っていきましょう。

- 1 -

デュオ エッセンス

代表：永野典子 メンバー：2名

新加入

練習は、五井公民館と菊間コミュニティセンターで土曜日と日曜日の13:00～17:00

結成は20年前、その前はそれぞれのグループで活動をされていたそう。

永野さんは、幼少（4歳）の頃からピアノを習い音大卒業後、ヤマハ音楽教室で講師として5年間間、ピアノの演奏活動。また、河合音楽教室の大正琴の師範の資格をとり五井公民館のサークル活動講師として30年指導しています。

メンバーの平川幸一さんは、高校・大学のジャズ研究会でドラムスを担当。今も現役のロックミュージシャンです。リズムは身体で覚えるもの理屈ではない。ピークは25歳、現在は60%くらいかなと謙虚に話されましたが、取材の最後に、演奏してくださった平川さんご自身アレンジの葉加瀬太郎作「情熱大陸」は大迫力でした！！

活動は、菊間コミュニティセンター他。5年前市原市民会館の無観客（コロナ禍）で開催された「まちくる！」にお二人で出演。YouTubeにアップされています。

コロナ禍で演奏機会が減り、声を掛けて頂ければどこでも行きます。ドラムセットが大きく音量も大きいので会場は限られますが、との事です。



大正琴ロマン

代表：永野典子 メンバー：11名



練習は、五井公民館で第1・3木曜日の9:00～12:00

いつもは大正琴用の曲を練習しているが、取材した8月は10月の五井公民館の文化祭に出演用の6曲を練習中。永野さんはピアノ伴奏をしながらの指導もされる。▼大正琴ロマンのみなさん

先生は優しくて分かりやすく教えてくださると、笑顔で話されたのが印象的でした。

ボランティア活動は高齢者施設等で実施。

2024年1月には市内のコミュニティFM局いちばらFMで、「イチラジ！」の取材を受けたそうです。取材の最後に素敵な音色の大正琴の演奏を聴かせてくださいました。



- 2 -

団体紹介

二九会

代表：藤松正雄 メンバー：12名

中高根の高根台町会で、危険な樹木や高齢者宅等から依頼された樹木の伐採、草刈り、除草剤散布の他、防災訓練時に炊き出しを実施するなど、個人では手に余る町会内の様々な事を、メンバーそれぞれの持っているスキルで解決しています。

取材にお邪魔した時は、8時半に集合して個人宅の大きな樹木を3本伐採。木を切り倒す人・太い幹を運べる長さに切る人・枝葉を落とす人・軽トラに乗せる人・処理場に運ぶ人。慣れた様子でテキパキと、誰にも言われるまでもなくそれぞれ動く。もうプロですね。うちの町会でもこんな会欲しい！！



樹木の伐採が終わるとこの日はまだ作業が。11月に行われる町会主催防災訓練の炊き出しに使う組み立て式かまどの点検、みなさん阿吽の呼吸で3台を素早くチェックして修理まで。11時過ぎに全て終了。お疲れさまでした。

手前左側が代表の藤松さん▶



大正琴さくら

代表：永野典子
メンバー7名

永野さんが、五井公民館のサークル活動で30年ほど指導する大正琴の初級クラス。といっても長い人で20年弱、他の人も10年前後と、実力は上級者クラス。

練習は、五井公民館で第2・4木曜日、9:00～12:00。大正琴の曲の練習は、永野さんのピアノ伴奏での指導もありみなさんと気あいあい。取材時は五井公民館で10月に開催の文化祭に向けて5曲を猛特訓中で、大正琴ロマンのメンバーと出演しました。

ボランティア活動は、施設からの依頼があると、一時間で10曲ほど演奏しているそうです。今年度は4回実施しました。



ただ今会員募集中！！ 見学者はあるものの楽器が高価で入会まで至らず、なかなか会員が増えないのが悩みの点とか。取材中の私たちにも両手を使い頭も使うのでケガ防止にもいいから是非にと、お誘いされました。私たちにはとても無理なので即お断りしましたが、興味がある方は冊子の裏表紙にあるV連協事務局まで気軽にお問合せください。

取材の最後に素敵な演奏を聴かせていただきました。

▲大正琴さくらのみなさん。前列中央が代表の永野さん



- 3 -

ユース・スピリッツ・カンパニー

代表：小出和男 メンバー：5名

新加入

二か月に一度、3名ほどで認知症の方のグループホーム「リブフォーレスト姉崎」を訪問、23名の入所さんのヘアカットを行っています。

ヘアスタイルには中々こだわる方もいて、丁寧に要望を聞きながら流石のハサミさばきで素早くカットしていきます。カットしながら優しくお話しして、入所者さんもサロンに来ているような気分ですね。終わるとみなさん心な



しか、一様にスッキリした顔つきになりました。

女性は化粧やヘアカットする事で認知症に良い影響があるとか。男性だってさっぱりしていた方が気分が良いですね。

長い人生を生きてこられた先輩たちが少しでも健やかに日々が送れるようお手伝い。これからも長く続けていただきたい活動です。



右側から代表の小出さん
中・柴野孝夫さん、左・座覇恭平さん

琴の音

代表：長峯美恵子 メンバー：8名



ルトがある事を初めて知り勉強になりました。

ボランティア活動は、市社協やメンバーの知り合いを通じて要請を受け、月1～2回、介護施設に出向き、利用者さんに大正琴の演奏に合わせ一緒に歌ってもらいます。

アネッサで年1回開催されるドリームコンサートに出演していましたが、コロナ禍で中止になってしま残念です。

左右の手を全く違う動作で忙しく動かす演奏はとても難しそうですが、音色はとても涼やかで優雅です。

長峯さんは、30年程前に大正琴の琴伝流（きんでんりゅう）師範の資格をとり指導しています。アネッサでは、20年前に教室を開きました。毎週月曜日13:00～16:00に練習しています。ソプラノとアルト大正琴に分かれて、長峯さんのタップや拍節器のリズムに合わせて演奏します。大正琴にも他の楽器と同じくソプラノやア



左端が代表の長峯さん

- 4 -

団体紹介

アルパンサンプル

代表：五味章子「ラ・ルーナ」
メンバー：5名

アルパは別名ラテンハープとも呼ばれ、ラテンアメリカ諸国の民族音楽で用いられる弦楽器です。

五味さんはラテン音楽のコンサートを聴きに行ったのがきっかけで魅了され、生涯の友となったアルパを始められたそうです。高じて2020年、音楽好きな仲間とアルパを中心としたアンサンプルを結成しました。

公民館や地域での演奏活動、県や市のイベント、スクールコンサートなど年30回ほどのボランティア活動と3～4回の大きなコンサートに出演。精力的に演奏活動をされています。取材をお願いした時も市原市アンサンプルフェスタ出演の前で、全員集まってる貴重な練習日でした。早く取材に応じていただきありがとうございます。市原市アンサンプルフェスタでの演奏は市原市のホームページから見られます。アルパの不思議な魅力の音色を聞いてみませんか？



▲後列左から・えちせんさん・よしえさん・あつくんさん
前列左から・けいこさん・代表のしょうこさん



NPO 法人 もぐらの冒険 代表：小倉哲 メンバー：10名

子どもたちにとって重要なのは、自由に遊ぶこと、食べる、寝ることですね。でも今の時代、誰にも束縛されず思う存分遊ぶのは難しい。ついつい「危ない！、そんなことよりこっちを」とストップをかけがちです。NPO 法人もぐらの冒険代表・小倉哲さん、絵理さん夫妻は「自分の感性のおもむくまま遊べる場、異年齢の子どもたちや地域の大人たちとも交流できる場でみんなで過ごせばなんか楽しいよ？」の気持ちで「遊び場」を開設しました。現在は「遊び場」の提供だけでなく「おやこ食堂もぐもぐ」、「もぐもぐこども食堂」シニアのための憩いの場「ぬくもりカフェ」も運営しています。また、夏休み等は「みんなの居場所」を開設。地域のみんなで子育てしよう！脱・孤食、脱・孤育で！



▲「おやこ食堂もぐもぐ」前で
右・小倉哲さん、左・絵理さん

子育て中の親御さんにはとてもありがたいですね。子どもたちもきっと「みんなで食べるとなんかおいしい！」と思っていますよ。

「もぐらの冒険」の活動に興味がある方はホームページ

(<https://mogura-boukenn.org>) をチェック！



-5-

新加入団体紹介

人形劇サークル あねがさき

代表：本吉淑子 メンバー10名

アネッサ（姉崎保健福祉センター）児童館で楽しい人形劇やエプロンシアターを見せてくれたのは、設立30年超！の「人形劇サークル あねがさき」のみなさん。姉崎幼稚園のママ達が集まって始めた、子どもたちのための人形劇サークルです。

姉崎幼稚園で毎週練習を重ね、年間3回の上演の他、アネッサでも年2回上演しています。創作した人形劇を上演して子どもたちの反応を見るのが嬉しいと、新しい劇の創作だけでなく、作品に登場するキャラクターや衣装、舞台も手作り。みなさんとても器用です。小さい子たちは飽きやすいので工夫が必要、構成や舞台作りもみんなで話し合っ



▲児童館に集まった子どもたち
楽しみにしてたんだね。

しそうです。

ただ今メンバー募集中！！

お裁縫・お絵かき・工作好きな方、読み聞かせや子どもさんが好きな方も是非！！という事なので、参加したいかもという方は冊子の最終ページに記載のV連協事務局までお気軽にお問い合わせください。

▲前列右から2番目が代表の本吉さん



V 連協広報部 耕納 美保

我が家のお転婆猫「ヒメ」を紹介します。
うちの猫たち（3にゃん）は私が呼ぶと、外に遊びに行っているも帰ってきます。
この時は門柱の上でまったりしていましたが反対側から呼んだらピョンと飛んできました。流石の身体能力！！猫って凄い。けど、超真面目な顔して飛んでるのが笑えます。岩合さんには負けるけど、耕納イチ推しのイチ、いや3枚です。



私のイチ推し
お転婆猫

あなたのイチ推し募集中！！V連協事務局までご連絡ください。折り返しご連絡いたします。

-6-

相撲甚句会

日時：2025年8月22日

場所：セントケア千葉（株）セントケア市原

取材しました

▼左端が代表の坂井誠さん

相撲甚句会の皆さんが、訪問介護やデイサービス、ショートステイ等を提供する「小規模多機能型」の施設、セントケア市原さんで相撲甚句とカラオケのボランティア活動をするということで取材させていただきました。

セントケア市原さんが市社協に相談して紹介されたそうです。

相撲甚句は初めてという方も多かったよう

で、珍し気に聴き入っていました。カラオケは何日も前から練習されたとかで、モニターの歌詞を見ながら大きな声で上手に歌えました。顔を紅潮させて楽しそうに歌う様子は微笑ましく、みなさん始まる前より少し若返ったような気がしましたよ。

代表の坂井さんははじめメンバー4名は着物姿で颯爽と相撲甚句、渋い！！またV連協の行事でも披露してほしいです。



参加しました

グランパ・フェスタ in いちはら

日時：2025年11月15日

場所：ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら

市原市のグランパ（65歳以上の男性）たちに少しでもボランティア活動に参加してもらおうと、市原市で活動する31団体がブース展示や活動紹介する「グランパ・フェスタ in いちはら」の、午前の部ポッチャ大会に役員4名で参加、ほとんど経験無しのビギナーズメンバーでしたが激戦の3回戦を1位で通過、優勝決定戦では惜しくも敗れましたが準優勝、豪華賞品をゲットしました。（4チームの総当たり戦で勝ち抜いた1位二組が優勝決定戦、2位二組が3、4位決定戦を行いました）かなり盛り上がり楽しかったのでV連協の行事にいつか企画したいと話しました。

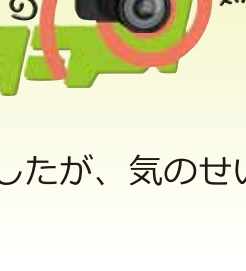
午後の部では井前会長による「V連協」についての講演も。展示会場のV連協のお隣は市社協さんで、他にも「SaToYaMa よくし隊」や「かずさのくに国府探検隊」、「NPO 法人もぐらの冒険」などV連協会員のブースもありました。

さて、訪れたグランパたちの興味を引く団体はどれくらいあったのでしょうか？

-7-



写真・文 福田 耕一（日本の旅）



宮城県気仙沼市にある「龍の松」です。東日本大震災で津波の被害を受けたのですが、奇跡的に残った姿です。陸前高田市にある「奇跡の一本松」とともに復興のシンボルになっています。

仙台には妹が住んでおります。お中元などには必ず「笹かまぼこ」を送ってきます。お返しは「市原の梨」です。最近「市原の梨」も高くなりましたが、気のせいか送られて来る「笹かまぼこ」も数が減ったみたいです。

2025年度の会費納入がお済みでない会員さまにお願い

グループごとにまとめ、振込み・現金書留・ボランティアセンターへ持参

これらのいずれかにて納入いただきますようお願い申し上げます

いちはらV連協だより40号

発行元 市原市ボランティア連絡協議会

〒290-0075

市原市南国分寺台 4-1-4

事務局

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会 市原市ボランティアセンター内

TEL 0436-20-3100 FAX 0436-22-3031

メールアドレス vc@ichihara-shakyo.or.jp

（ご連絡・お問い合わせはこちらからお気軽にどうぞ）

V連協の紹介

ページはこちら



市原市ボランティア連絡協議会 加入グループ49(569名) 個人会員22名 総数591名(2025年11月現在)